

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成25年5月2日(2013.5.2)

【公表番号】特表2012-522670(P2012-522670A)

【公表日】平成24年9月27日(2012.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-039

【出願番号】特願2012-504684(P2012-504684)

【国際特許分類】

B 2 9 C 59/04 (2006.01)

G 0 2 B 5/00 (2006.01)

B 2 9 L 7/00 (2006.01)

B 2 9 L 11/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 59/04 C

G 0 2 B 5/00 Z

B 2 9 L 7:00

B 2 9 L 11:00

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月15日(2013.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

押出成形により複製を行う方法であって、

樹脂材料を加熱して流動性融解材料を形成する工程と、

前記流動性融解材料をプレスロールと、微細複製パターン付き外面を有する低熱拡散性有機材料と、前記有機材料の前記パターン付き外面の上に配置された形状追従性の無機コーティングと、を備える複製部材との間の接触区域内に放出する工程と、

前記融解材料から、前記微細複製パターン付きの前記複製部材外面に対応する微細複製パターンを有するフィルムを形成する工程と、を含む、方法。

【請求項2】

押出成形により複製を行うためのシステムであって、

プレスロールと、

前記プレスロールに隣接して位置づけられた、微細複製パターン付き外面を有する低熱拡散性有機材料と、前記有機材料の前記パターン付き外面の上に配置された形状追従性の無機コーティングと、を備える複製部材であり、前記プレスロールと前記複製部材との間の材料を押出成形して複製することが可能な複製部材と、を備えるシステム。

【請求項3】

押出成形による複製システムで使用するための複製部材であって、

円筒形コアロールと、

前記円筒形ロールコア上に配置された、微細複製パターン付き外面を有する低熱拡散性有機材料層と、

前記有機材料の前記パターン付き外面の上に配置された形状追従性の無機材料層と、を備える、複製部材。

【請求項4】

押出成形により複製を行うシステムであって、
プレスロールと、

前記プレスロールに隣接して位置づけられた、微細複製パターン付き外面を有する低熱拡散性有機材料と、前記低熱拡散性有機材料の前記パターン付き外面の上に配置された形状追従性の無機コーティングと、を備える複製部材であり、前記プレスロールと前記複製部材との間の材料を押出成形して複製することが可能な複製部材と、を備えるシステム。